

町田・相模原のビジネスをリードする町田・相模原経済同友会 会報

武相エコノミスト

vol.16 2023.1.1

BUSO ECONOMIST



2023
新春スペシャル対談

町田商工会議所 会頭

澤井 宏行

町田・相模原経済同友会 代表幹事

井上 博行

企業と人

株式会社ホンマ電機 取締役会長

本間 俊三

私の行きつけの店

株式会社三ノ輪建設 代表取締役 萩原 謙

燈火



【表紙の人】

左から、町田商工会議所 澤井宏行会頭、井上博行代表幹事。
町田デザイン&建築専門学校にて。
撮影：菊地英二

04

SPECIAL FEATURE

2023 新春スペシャル対談

町田商工会議所 会頭

町田・相模原経済同友会 代表幹事

澤井 宏行 × 井上 博行

人と人、地域と地域のつながりを深め、
アフターコロナの時代を颯爽と生き抜く

07

私の行きつけの店

燈火 × 株式会社三ノ輪建設 代表取締役 萩原 謙

味わい深い炉端で、四季折々を見つめる

08

企業と人

株式会社ホンマ電機 取締役会長

本間 俊三

10

例会報告

第124回例会「会員スピーチ」実施報告
2022年4月～12月例会内容

武相エコノミスト

題字 小山克己(株式会社 三和 相談役)

号数 第16号
発行日 2023年1月1日
発行所 一般社団法人 町田・相模原経済同友会
〒194-0013 東京都町田市原町田5丁目3-5
リシェール町田211
TEL:042-732-3358 FAX:042-726-3577
制作 有限会社コムネットシステム
制作協力 bluecabin editworks
有限会社SORA
町田・相模原経済同友会 入会のお申込み・お問合せ
TEL:042-732-3358 <https://ms-doyukai.jp>

※本誌掲載の写真、記事、ロゴの無断転載、および複写を禁じます

THINK GLOBALLY, ACT LOCALLY.

町田・相模原経済同友会は、「誰もが住みよい町田市」の実現を目的に2006年7月に設立された東京町田経済同友会を前身とする経済団体です。その後、2008年4月に町田・相模原経済同友会に改称し、町田市と相模原市、すなわち「武相」の発展を目指す団体へと進化を遂げました。

会員は両地域で跳動する企業の経営者たちで、一人ひとりが企業運営の根幹を成す「貢献する心」を重んじると共に、業種や団体の枠を超えたネットワーク、時代の遷り変わりを見抜く確かな目、問題を直視するリアリズムを有しています。そして、その豊かなリソースに基づく「Think globally, act locally(グローバルな視野で地域を捉える)」の視点で、多様な事象・課題について調査・研究・議論し、広く社会に影響を与えるべく、行政への提言や講演などの活動を行っています。何よりも大切にしているのは、会員同士が論じ合い、かつ会員と地域が交流を深めることであり、それがひいては地域全体の経済力向上に寄与すると確信しています。

揺るぎない信念を礎に、確かな新しい時代を築くため、一般社団法人 町田・相模原経済同友会はこれからも歩み続けます。

■会員一覧:

朝日リビング(株)
(株)イーグル建創
SMBC日興証券(株) 町田支店
(学)桜美林学園
(株)オーディオテクニカ
(株)折本設備
(株)カイセ工業
(株)家具の大正堂
(株)ギオン
(株)きらぼし銀行 町田支店
草薙一郎法律事務所
(株)ケーユーホールディングス
相模原土地開発(株)
(株)三凌商事
(株)三和
シー・エイチ・シー・システム(株)

(株)JTB 相模原支店
(株)障害者
住友生命保険(相) 町田支社
西武信用金庫 町田支店
(株)創建
損害保険ジャパン(株) 町田支社
第一生命保険(株) 町田支社
大和証券(株) 町田支店
(株)タウンツアーズ
多摩信用金庫 町田支店
(福)竹清会
(医)直源会 相模原南病院
東京ガスライフバル澤井(株)
(学)東京町田学園
町田デザイン&建築専門学校
西松建設(株)

日本生命保険(相) 町田支社
野村證券(株) 町田支店
秋生田税務会計事務所
(株)八朗平
東日本電信電話(株) 東京西支店
ファシリティアパートナーズ(株)
(株)フィルツ都市建築設計
細野コンクリート(株)
(株)ホームリーダー
(株)ホンマ電機
(有)マザハ
(株)町田双葉
(株)三菱UFJ銀行 町田支店
(株)三ノ輪建設
(株)山梨中央銀行 町田支店
(株)横浜銀行 町田支店

人と人、地域と地域のつながりを深め、



町田商工会議所 会頭

町田・相模原経済同友会 代表幹事

澤井 宏行

井上 博行

いまだ収束を見ぬ新型コロナウイルス感染症。その影響を直に受けてきた企業経営者たちは、未来に向けてどのようなビジョンを描くべきか。令和4年11月1日に町田商工会議所 会頭に就任した澤井宏行氏と、町田・相模原経済同友会の井上博行代表幹事が、アフターコロナを生き抜くための経済的課題と展望を語る。

アフターコロナの時代を颯爽と生き抜く

撮影：菊地英二

町田・相模原の未来に向けて

井上 改めて、町田商工会議所の会頭ご就任おめでとうございます。まず町田・相模原地域の経済について、新会頭のお考えを聞かせてください。

澤井 町田・相模原には、素晴らしいチャンスがあると思います。その理由の一つは、地の利ですね。都市と自然が共存している住むもよし。ビジネス拠点としても都心からのアクセスが良く、新幹線や複数の高速道路が通っていることから地方にも出やすいと。二つめは、地域の先人の方々が築いてくださった豊かな人の輪です。町田商工会議所は、この貴重な二つの宝に磨きをかけて未来を創っていく一端を担いたいと考えています。

井上 町田・相模原経済同友会も地域社会の発展を第一的としていますので、町田商工会議所としていかに連携を図っていききたいですね。

組織の枠組みを超えて、皆で未来を考えたい。ー澤井

澤井 地域発展のために私どもは三本の柱を掲げていますが、第一は「未来を考える」ことです。そもそも商工会議所は公的サポートが届きにくい中小企業事業者の支援を目的とする団体ですから、その立ち位置を再認識し、会員の皆様と一緒に論じ合い、町田のブランドデザイン

を進めたいと思います。第二は「つながり」で、人と人、仕事と仕事のつながりを地域経済の活性化に役立てることを目指します。経営者というのは孤独ですから、相談し合えたり、語り合えたりする仲間とつながる機会をどんどん提供したいですね。また、私は以前から「仕事の地産地消」を提案申し上げて、経済合理性をしっかりと確保しながらも、なるべく地元の人材が支え合うことを推奨しています。第三の柱は「中小企業事業者の活性化」です。商工会議所は全国的なネットワークを持っていますから、最新のトレンドや経営スタイルに関する情報が集まります。それをもとに、経営者が直接学び、ブラッシュアップできるセミナーなどを拡充します。三本の柱に加えてもう一つ、女性の活躍も後押ししたいですね。近隣の会社が共同利用できる保育施設など、女性が安心して働ける環境づくりも積極的にサポートします。

立川市が挙げられますね。立川飛行場跡地や国有地を活用してモノレールを走らせ、人口は町田市や相模原市よりも少ない18万人ですが、大規模なホテルが4軒も建ち、海外を含めた市外から人々が訪れる素晴らしいまちづくりを行っています。私も外からのマイクマナーに力を注がないといけませんね。現状350メートル離れている小田急線とJR横浜線の町田駅をひとつにする案も以前から挙がっていますが、やるからには出口を「町田口」「相模原口」と命名するくらい大胆に、両市と議会などが一体となったまちづくりに臨む意識が必要です。

アフターコロナ時代の課題

井上 コロナ禍では、自助・共助・公助を強く実感しました。まず一人ひとりが感染防止対策を心がけ、そのうえで肩を寄せ合い、皆で支え合った。そこへ公的支援金が入ってきて、なんとかやってきたわけですが、さて次はどう消費を活性化させるか。今後政府から支援策をいただければそれを活用するのはもちろん、地域経済をまわす手段としては「買い物や外食をするなら地元で」という意識を皆様に持つていただくことに尽きるのではないのでしょうか。加えて町田は観光資源が豊富ですから、マイクマナーを押し進めることで、先ほど井上代表幹事がおっしゃった「外からのマイクマナー」も期待できると思います。

大所高所から理想を語り合うことが大切。ー井上

井上 感染防止対策を怠らず、なおかつ地域経済を活性化させなければいけないと、ただ、これだけいろいろな手を打っても取東に至らない状況下で、やはり危惧するのは日本全体の経済です。海外観光客の受け入れや、GOTOトラベルキャンペーンの再開も良いですが、また感染者が増えて自粛ムードが広がるといった悪循環に陥る可能性もありますから、特定の業種にとどまらない幅広い支援は、この先も必要でしょうね。

My Favorite Place
私の行きつけの店

燈火 × 萩原 謙

株式会社三ノ輪建設 代表取締役

味わい深い炉端で、
四季折々を見つめる



「肉も魚も野菜も、どれをいただいても美味しいです。仕入れによってメニューも変わるので、今日は何かへと行くたびに楽しんで飽きることがありません。ポテトサラダの具もいつも違いますし、締めの焼きおにぎりも絶品ですね。」

武相エリアの建築施工を幅広く手がける三ノ輪建設の代表取締役、萩原謙氏はその仕事柄、移りゆく町田の街並みをずっと見つめてきた。「食べることが大好き」なことから、地域の飲食店事情にもかなり詳しい。そんな氏の最近のお気に入り、が、炉端焼きの店「燈火」だ。

春はたけのこや山菜、夏はイサキ、秋はきのこのどろろやキンキ、冬は白子や牡蠣、あん肝といった旬を存分に堪能でき、ここを訪れると「圧倒的な喜び」を感じられるのだと萩原氏。だからこそ、会社の帰りがけに寄るのももちろん、取引先の相手や友人との会食に利用することもあれば、週末にはご夫人と一緒にやってくることもあるという。

「どんな仕事も大変ですが、建築業はきついうえに危険を伴います。人材不足も深刻で、業界全体の高齢化も進んでいますから課題や苦労は多々あります。そういう中で、ここで過ごすと時は私にとっても大切なんです。」

一歩足を踏み入れると、都市の喧騒とはかけ離れた、懐かしくて暖かい空間に出会える燈火。美しく深い日本の食と共に、「お客様に喜んでいただけることが何よりもうれし」という店主の心意気も味わうことができる。



燈火(ともじび)

町田市中町1-16-11 なかまビル1階 TEL 042-851-7766
営業時間=平日16:00~23:00頃、土日祝日13:00~23:00頃(来店時間は日により変動・不定休)
貸し切り予約可(12名以上~)



撮影:鈴木翔吾(町田デザイン&建築専門学校)



井上 博行 Hiroyuki Inoue

町田・相模原経済同友会 代表幹事
町田デザイン&建築専門学校 理事長/校長
1940年、町田市木曽町生まれ。大手建設会社職を経て、設計事務所を開設。建築業に携わることから町田市議会議員を3期務め、1978年には多摩造形学園(現・町田デザイン&建築専門学校)を創立した。現在、宮大工を養成する匠塾の開校準備を進めており、今後は文化継承に寄与する人材の育成にも力を注ぐ。

企業の強みや価値を見極める

澤井 コロナ禍がもたらした変化としては、企業のDX改革やテレワーク推進も挙げられます。その恩恵を受けているビジネスモデルも多々あつて、町田商工会議所でも市にご用意いただいたデジタル化支援の予算をあつという間に使い切つてしまふほどのニーズがありました。とはいえ、テレワークやECでは成り立たないリアルな商売を追求している中小企業も多く、DX推進を行わないことでも

ノやサービスを届ける最後の接点を重視する以上テレワークはそぐわないですし、一切行つていません。むしろ視点を交えれば、ラストワンマイルこそ中小企業の強みでもありますから、今後はそれを担う仕事の価値を高めていくことも大切かもしれません。

井上 たしかにDXの波に乗り遅れたために業績を伸ばせていない企業も少なくないようですが、人件費を削るためだけにデジタル化を進めたり、ロボット導入に資本を投入したりするよりも、やはり人同士の触れ合いを維持していくべきでしょうね。長期的に見れば、そこそが企業が地域社会にとって意義ある結果をもたらすのだと思います。

井上 そうした人と人の触れ合いをいっそう強固にするためにも、町田商工会議所の魅力をもっと高め、さらに多くの事業者の皆様に入会していただき、共に地域の発展に貢献していきたいですね。

澤井 井上代表幹事が開校準備を進めている「匠塾」は、職人の価値を高めるうえで最適な施設だと思いますよ。

井上 匠塾は即戦力となる宮大工・大工を育てる学校で、日本文化の継承が危ぶまれる中、国内産業の発展に寄与する人材を育成することを目指しています。また、コロナ禍では教育の現場でも対面・非対面が大きな問題となりましたが、私の学校は技術を教える場ですから、6〜7割は対面授業です。感染防止対策は不可欠ですが、それこそが教育の本質です。友達との交流やサークル活動も大事です。人間対人間の心の通い合いや目線の交わりを体験しないと、他者を理解できないし、自分も成長しません。日本の心と言いましようか、人に対して気配りができる日本人の良さを失わないためにも重要ですね。

井上 匠塾は即戦力となる宮大工・大工を育てる学校で、日本文化の継承が危ぶまれる中、国内産業の発展に寄与する人材を育成することを目指しています。また、コロナ禍では教育の現場でも対面・非対面が大きな問題となりましたが、私の学校は技術を教える場ですから、6〜7割は対面授業です。感染防止対策は不可欠ですが、それこそが教育の本質です。友達との交流やサークル活動も大事です。人間対人間の心の通い合いや目線の交わりを体験しないと、他者を理解できないし、自分も成長しません。日本の心と言いましようか、人に対して気配りができる日本人の良さを失わないためにも重要ですね。

澤井 澤井 井上代表幹事が開校準備を進めている「匠塾」は、職人の価値を高めるうえで最適な施設だと思いますよ。



澤井 宏行 Hiroyuki Sawai

町田商工会議所 会頭
町田・相模原経済同友会 幹事
東京ガスライフバル澤井株式会社 代表取締役社長

1965年、日野市生まれ。父親が営む東京ガスライフバル澤井(株)に入社。東京ガスライフバル相模原代表取締役社長、東京ガスライフバル澤井(株)取締役副社長を経て、2021年に同社代表取締役社長に就任した。2022年11月1日、町田商工会議所 会頭に就任。

井上 昔は人生七十古来稀なりだったのが、今や人生百年時代ですから、定年退職された方々が新たな学びを得られる仕組みづくりもポイントかもしれません。政府もリカレント教育を推進していますが、私どもの町田デザイン&建築専門学校では2年の通信教育課程で二級建築士の受験資格、3年の通信教育課程で一級建築士の受験資格を付与して、若い方から定年退職された方まで約300名の学生がその制度を利用しています。つ

不足を少しでもカバーできればと考えています。

澤井 井上代表幹事が開校準備を進めている「匠塾」は、職人の価値を高めるうえで最適な施設だと思いますよ。

澤井 井上代表幹事が開校準備を進めている「匠塾」は、職人の価値を高めるうえで最適な施設だと思いますよ。

すべては人々と社会に

貢献するために

相模原市に拠点を置くホンマ電機は、神奈川県全域と町田・多摩地区の事業所を主対象に電気・空調設備の新設・整備・修理を行っている。創業者は、本間俊三氏。鋭い先見の明で会社を興し、武相エリア屈指の企業に育てあげただけでなく、相模原市議会議員として地域発展にも寄与してきた人物だ。建設業に類する自身の仕事を「サービスマン」と捉え、何よりも社会貢献を重んじる氏の志を紐解く。



株式会社ホンマ電機 取締役会長
本間 俊三 Toshizo Honma

COMPANY PROFILE

株式会社ホンマ電機
創 業：1973年(昭和48年)2月
資 本 金：2500万円
事業内容：電気設備の設計・施工・修繕、
空調・冷暖房設備の設計・施工、
緊急サービス、定期点検
所 在 地：相模原市南区上鶴間1-12-1
T E L：042-746-1616
<https://www.honma-denki.jp/>

撮影：鈴木翔吾(町田デザイン&建築専門学校)

BEGINNING

高度経済成長を遂げた昭和40年代以降の日本において、電気設備の設置・修繕を担う電気工事は先端的な職業の一つだった。昨今のシステムエンジニアにも相当するような、社会インフラに不可欠の存在。ホンマ電機の取締役会長、本間俊三氏は持ち前の先見の明でその業界に飛び込み、事業を拡大してきた。



中村病院(上)、多摩丘陵病院(右)におけるキュービクル(高圧受電設備)更新工事の様子。

もともと電気や機械が好きだった。郷里の山形で工業高校に通い、一度は大手企業に就職するも、2年で見切りをつけて中央大学理工学部電気工学科へ進学。いずれ起業することを念頭に、卒業後はあえて就職せず、電気工事に弟子入りして技術を磨いた。それから4年を経た昭和48年、相模原市上鶴間(現・南区上鶴間)に本間電気設計事務所を開く。

氏には確信があった。「地味な仕事だが、絶対なくならないし、景気にも左右されない」。電気工事工業組合に加入して人脈を築くと、町工場をはじめ、各所から施工依頼が来るようになる。創業から間もなく世界はオイルショックに見舞われるが、読みどおり、インフラを支える仕事が途切れることはなかった。

オフィスビル、マンション、店舗、病院。あらゆる現場をこなす中、昭和50年に法人化し、昭和54年にホンマ電機へと改称。苦難もあったが、約10年の間に従業員を増やし、設備投資を行い、武相有数の電気工事に育てた。

PHILOSOPHY

ホンマ電機が発展した理由は、時流に乗ったこと以外にもう一つある。「他の電気工事はやりたがらないような小難しい修理」を積極的に掲げ負ってきたことだ。老朽化した建物の修繕がそれにあたり、設計図に従ってパーツを組みつける新築工事とは別の、より高度な知識やノ

CONTRIBUTION

社長として多忙な日々を過ごすかたわら、いつしか自治会やPTAなどにも関わるようになり、平成7年には相模原市議会議員選挙に出馬。政治の世界に足を踏み入れるとは想像もしていなかったというが、地元の名士の推挙を受けて決意したのだった。

ウハウを要する。急なトラブルに際しては図面が用意されないことも多く、設備を自分たちの目で診断し、修理方法を探っていく。しかも、旧来の機器に対応する資材や部品も豊富にストックしておかなければいけない。そうした業務に特化することで、ホンマ電機は揺るぎない信頼と実績を積み上げていった。

「電気工業は建設業に分類されますが、私どもはフォロワーの仕事、サービスマンだと考えています。誰かのお手伝いや役に立つことをしたいのです」——そんな本間氏の想いは、本業のみならず、地域行政や社会貢献にも向いていく。

それからの8年間は、市政に全力を尽くした。とりわけJR横浜線町田駅南口の治安改善・浄化プロジェクトをけん引した立役者として知られ、以後も現在に至るまで、地域の防犯対策や災害ボランティアネットワークの強化、温暖化対策協議会や町田・相模原経済同友会の運営など、数多くの活動に携わっている。

平成15年に議員の職を辞したのを機に、ホンマ電機の経営は長男に委ね、自身は会長として見守ることにした。その分、「お節介りのように地域支援をいろいろやるようになった」と笑う。

「ホンマ電機については、創業時から変わらず、これからも持てる技術を役立てる。それは知識や経験であり、人材や資材でもありますが、すべてをお客様のために使おうと。企業も、私がお所属するさまざまな団体も、結局は人々や社会に貢献するためにあるのです」

柔らかくも真っ直ぐ強い本間氏の視線は、常に目の前の「人」と、その先に広がる「未来」を見通そうとしている。



第124回例会 2022 10/20(木) 町田市文化交流センター

会員たちが熱いスピーチで地域経済を鼓舞

第124回例会では、シー・エイチ・シー・システム株式会社の渋谷俊徳氏と、社会福祉法人 竹清会の矢沢きよみ氏が登壇しました。町田・相模原経済同友会の会員であるお二人のスピーチに共通していたのは、「先を見る」と「地域に根差し、地域を大切にすること」。まさに同友会の理念を凝縮したような意義深い講演を要約して紹介します。

CHCヒストリーとCO₂・SDGs

シー・エイチ・シー・システム株式会社 取締役会長 渋谷俊徳 氏

渋谷氏が最初に語ったのは、創業の経緯。第二次オイルショックの真っただ中に、CHC IIセントラルヒーティングクリーン」を社名に冠するシー・エイチ・シー・システムを設立した当時の状況を詳しく聞くことができた。興味深かったのは氏が起業に踏み切った背景で、成長分野の空調設備施工にいち早く目を向けたことなど、時代を読む力の大切さを再確認させてくれました。

続いて、設備施工にとまらず、メーカーとしての事業も拡大してきた同社の歴史を紹介。人造大理石の洗面カウンター「マーベル」や、省エネと室内空気質改善を両立する「CO₂センサー・コントローラー」の開発に成功したエピソードなどは、冒険心に満ちた氏の経営スタイルをうかがわせるものでした。

今回の講演を通して、とりわけ氏が強調したのは社会貢献と地球環境保護。そして「現状に甘んじることなく外に打って出る気概」。その信条が産んだ「CO₂センサー・コントローラー」は今、新型コロナウイルス感染症に対する有効性の面からも注目を集めています。



社会福祉法人 竹清会の歩みと未来の介護

社会福祉法人 竹清会 理事長 矢沢きよみ 氏

矢沢氏は社会福祉法人の概要や存在意義、提供するサービスや職場環境についてわかりやすく説明。そのうえで、社会全体で介護職員を確保していくことの重要性に触れ、現状の問題点にまで踏み込む講演を展開しました。

中でも参加者の関心を引いた話題は、人材確保に向けた竹清会の施策です。全職員を派遣ではなく正規雇用とし、介護技術習得の支援体制を強化するなど、福祉の現場を整備しつつ、職員の負担を軽減する改革を進めてきたとのこと。中小企業の人材不足も加速する今、氏のアプローチは他業種でも大いに参考にも言及。竹清会では産休・育休を得やすい環境づくりはもちろん、出産後も仕事を続けやすい時短勤務での正規職員化などを試みており、平成29年度には東京都女性活躍推進大賞を受賞しています。他にも地域包括ケアシステムの構築など、超高齢化社会に適応し、豊かな未来を築くための多角的なアイデアを聞くことができました。



第120回例会 2022 4/21(木) 町田市文化交流センター

日本半導体の現況と再興への道

(株)東京精密 前社長 太田邦正 氏

世界規模で不足している半導体の市場動向や、半導体の種類・用途・製造工程などを解説していただきました。ウクライナ情勢や日本の現況も踏まえた講話は、市場再興の道筋を示すものでした。



2022年度通常総会 2022 5/19(木) 町田市文化交流センター

第1回 一般社団法人 町田・相模原経済同友会 総会



令和4年4月1日に一般社団法人として新たな出発を遂げてから、初めての総会を行いました。前年度の事業報告及び収支報告、新年度の事業計画・予算の可決承認、定款の説明がなされました。

第123回例会 2022 9/15(木) 町田市文化交流センター

企業版ふるさと納税と旅行について

(株)JTB 企画開発プロデュースセンター 企画開発担当部長 友住武司 氏

企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)の活用による地域と企業のつながり方について講義をしていただきました。企業のメリットや活用例も交えた説明は、地域課題の解決策を導くものでした。



第125回例会 2022 11/17(木) 町田市文化交流センター

昨今のエネルギー状況と今後の都市ガスが果たす役割

東京ガスネットワーク(株) 東京西支店 副支店長/地域環境コーディネーター 古後康之 氏



エネルギーの歴史や情勢、日本の政策やカーボンニュートラルについて解説していただきました。誰でも取り組める環境活動の提唱など、エネルギー問題に対する参加者の意識が高まる講話でした。

第126回例会 2022 12/8(木) レンブラントホテル東京町田

クリスマス忘年例会

3年ぶりに開催することができたクリスマス忘年例会は、ソプラノ、ヴァイオリン、ピアノの調べをBGMに会食を楽しみ、会員同士が和やかに語らう、優雅なひとときとなりました。



今後の開催予定

【第127回例会】
日 時:2月9日(木)午後6時~
講 師:株式会社 障害社 代表取締役 安藤信哉 氏
場 所:町田市文化交流センター

【第128回例会】
日 時:3月16日(木)午後6時~
講 師:未定
場 所:町田市文化交流センター

第121回例会 2022 6/16(木) 町田市文化交流センター

人手不足・人口減少に如何に対処するか

元ネパール大使 水野達夫 氏

各国の人口問題と、日本の現状や将来への憂慮、今後の在り方などを詳しく語っていただきました。国家の存続に関わる重要なテーマに、参加者たちが改めて目を向ける貴重な機会となりました。



第122回例会 2022 7/21(木) 町田市文化交流センター

インフレと資産運用

野村アセットマネジメント(株) 参事 千田 聡 氏



昨今の円安傾向やデフレマインドが経済にもたらす影響、長期的目線で資産形成を続ける重要性とインフレ時代の資産防衛術など、今知っておきたい金融のトレンドについて話していただきました。



— Since 1954 —

夢・豊かさ・安心を かたちにつくる

株式会社 三ノ輪建設

TEL.042-722-5155

本社 東京都町田市中町1-17-3 三ノ輪ビル1F
神奈川営業所 相模原市南区上鶴間1-13-9 TEL.042-746-1011

分譲・仲介・賃貸管理

株式会社 ミノワホーム TEL.042-724-6060